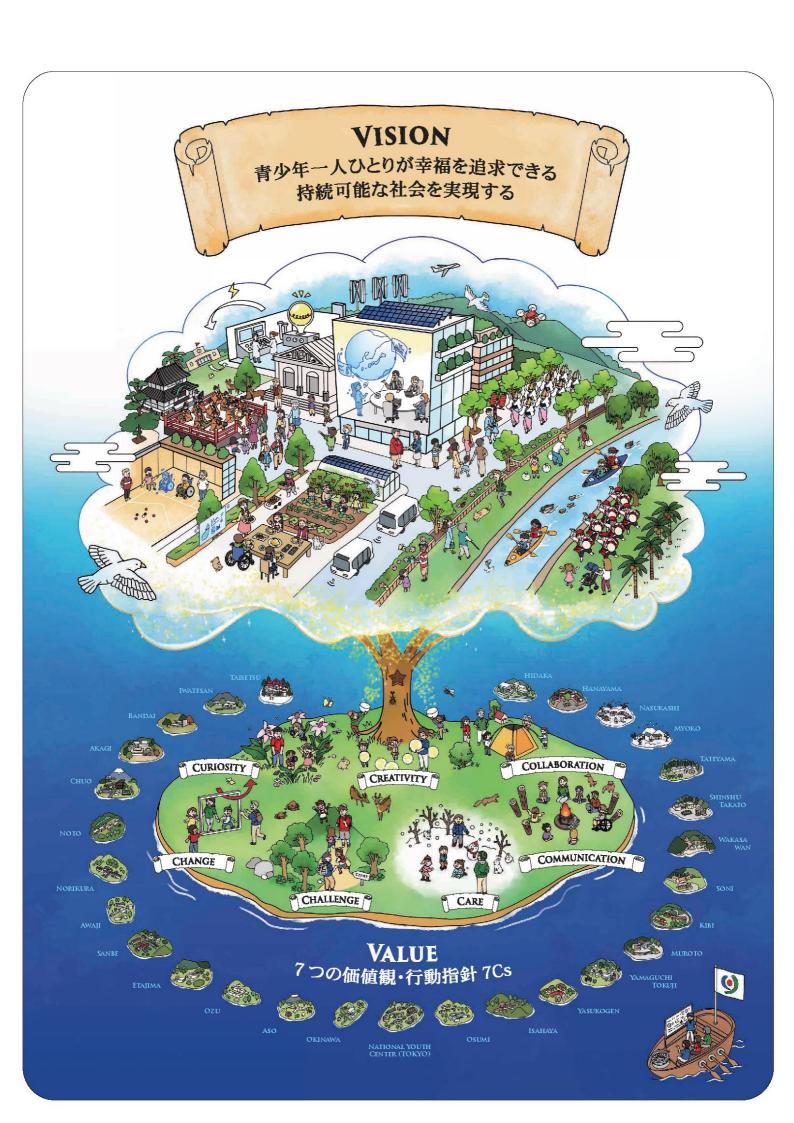
概要

~2023年度版~





独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家



はじめに

1 国立青少年教育振興機構とは

独立行政法人国立青少年教育振興機構(平成18年4月発足)は文部科学省所管の組織で、 国立の青少年交流の家、青少年自然の家そして国立オリンピック記念青少年総合センターの全 28施設の運営しています。国立夜須高原青自然の家もその施設の一つです。

近年、都市化、情報化、少子化等が進み、青少年を取り巻く環境は大きく急激に変化しています。また、グローバル化の進展は、世界と我が国との距離を縮め、多様な価値観を持つ 人たちとの共生が求められています。

当機構は、我が国の青少年教育のナショナルセンターとして、青少年をめぐる様々な課題へ対応するため、青少年に対し教育的な観点から、より総合的・体系的な一貫性のある体験活動等の機会や場を提供するとともに、青少年教育指導者の養成及び資質向上、青少年教育に関する調査及び研究、関係機関・団体等との連携促進、青少年教育団体が行う活動に対する助成を行い、我が国の青少年教育の振興及び青少年の健全育成を図ることを目指しています。

2 青少年教育振興機構のMVV(ミッション・ビジョン・バリュー)

私たちの使命 Mission

青少年教育の振興、健全な青少年の育成

私たちが目指すもの Vision

青少年一人ひとりが幸福を追求できる持続可能な社会を実現する

私たちの価値観、行動指針 Value

1. Curiosity 私たちは、何事にも好奇心を持ち、

2. Change 枠にとらわれずに変化し、

3. Challenge 失敗を恐れずにチャレンジします。

4. Care 私たちは、すべての人たちを思いやり、

5. Communication 多様性を重んじ、対話と共感を大切にします。

6 . Collaboration 私たちは、多様な人々や組織と協働し、

7. Creativity 青少年のさらなる体験の場を創造していきます。

私たちの公約 Commitment

私たちはミッション・ビジョンを達成するために、28施設が一つの船に乗って、7 Csを羅針盤に七つの海(7 Seas)を渡っていきます。





目 次

● 概要······ 1
● SDGs宣言とは 2
● 利用にあたって
● エリアマップ 4~5
● 施設紹介
● 活動プログラム紹介 8~9
● 施設業務運営委員会委員 沿革 10
● アクセスマップ ······ 11



















国立夜須高原青少年自然の家は、昭和63年に開所以来「子どもの体験活動の推進」と「利用者第一」を柱に運営してきました。

お陰をもちまして、これまで延べ400万人を超える方々にご利用いただき、微力ながら体験活動の拠点としての役割を果たしてきました。

さらに、今後は自然体験や感動体験等の非日常体験を大切にしながら、「学校の教育課程とマッチングしたプログラム開発」や「ESD·SDGs※推進の取組」に力を入れながら、日常を継続し学び直すことができる施設づくりを目指していきます。

注釈)

※ESD·SDGs···SDGsは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略。2030年までに達成を目指す国際目標である。ESDは、「Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)」の略で、持続可能な社会の担い手づくりを通して目標達成に貢献しようとするもの。

SDGs 宣言とは…

日本が、そして世界が、この先もずっと持続していくために、社会のさまざまな課題を、2030年までに解決することを目指す目標です。先進国から発展途上国まで、「地球上の誰ー人として取り残さない」ことを誓い国連において全会一致で採択された、私たち一人ひとりが関わる世界共通の目標になります。

そこで、国立夜須高原青少年自然の家では、SDGsプロジェクトを起ち上げ、利用者とともに 積極的に推進していきます。

国立夜須高原青少年自然の家

「SDGs」推進宣言

私たち国立夜須高原青少年自然の家は、ESD(持続可能な開発のための教育)を推進する立場から、SDGsの達成に貢献できるよう、五つの方針を定め、「YASUKOGEN SDGs Project」と称して、多様な活動場面において取り組みます。

- ・ 職員一人一人がSDGsを理解し取組の推進に貢献します
- ・研修支援の様々な機会でSDGsを発信します
- · 教育事業にSDGsの理念を取り入れて展開します
- · 関係機関・団体と連携してSDGsを発信します
- · SDGsを踏まえて施設の管理運営に取り組みます

この取組を通して、持続可能な社会の創り手の育成に寄与することを宣言します。





「国立夜酒高原青少年自然の家」は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

2020年6月5日 国立夜須高原青少年自然の家

利用にあたって

当施設は、研修計画を持つ2名以上の団体(家族も含む)であれば、どなたでも利用することができます。 ※ただし、青少年団体の場合は引率者が必要です。

なお、特定の政党を支持する活動や宗教的活動の他、もっぱら営利を目的とした活動を行う団体または 研修を目的としない団体は利用することができません。

〈申込方法〉

STEP1

当施設に電話や来所により問い合わせをし、空き状況を確認後、予約を行います。

1

STEP2

予約後3日以内に当施設ホームページへアクセスし、「申込フォーム」の入力・送信を行 います。

STEP3

1

「活動日程表」と「食数表」を利用日 6 週間前までに提出します。 (食物アレルギー対応食を希望する場合は、食物アレルギー事前確認表を 利用日3週間前までに提出してください。)

利用当日

1

(利用当日までに)「利用者名簿」を提出します。

〈費用〉※

	無料
シーツ等洗濯料	300円

- ※1 ドリームB宿泊の場合は一人一泊1,200円をいただいております。
- ※2 施設使用料は、学校その他の教育機関や青少年及び青少年教育関係者による研修等での利用に該当しない 「一般利用」の場合、1人1泊900円となります。
- ※3 2024年度より新たな料金体系となります。(別紙参照)

〈食毒〉

/XX/				
レストラン食	朝食	昼食	夕食	合計
中学生以上	550円	700円	800円	2,050 円
小学生	540円	680円	780円	2,000 円
未就学児(3 歳以上)	400円	500円	650円	1,550 円

○レストラン食の他、各種弁当、軽食等もございます。



エリアマップ







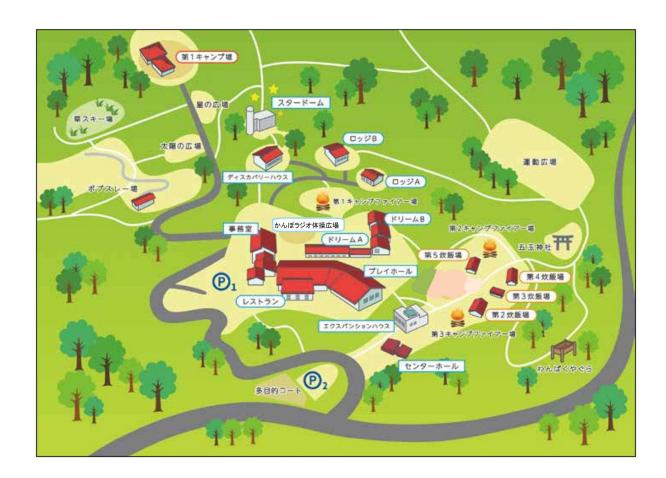


●多目的コート

❷本館入口

❸草スキー場

◆野外炊飯場(管理棟横)





⑤第5炊飯場 第2キャンプファイアー場



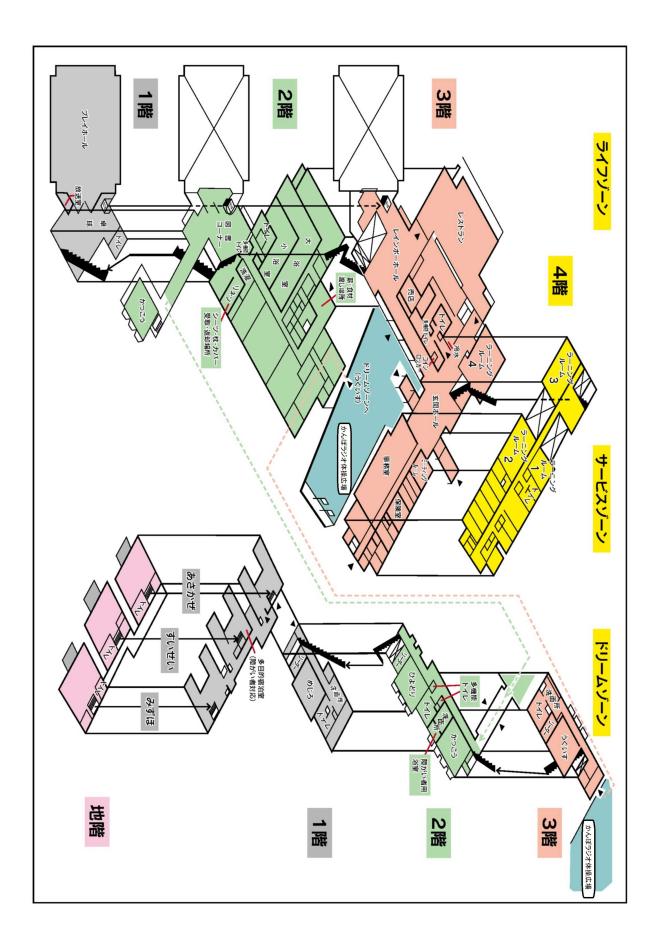
⑥かんぽラジオ体操広場



●第1キャンプファイアー場



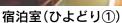
③運動広場(75m×35m)



本館生活エリア

ドリームA 宿泊室







宿泊室(ひよどり和室)

ドリームB 宿泊室



あさかぜ・すいせい・みずほ

【宿泊棟】()は各宿泊室のベッド数

●ドリームA: うぐいす(24)、かっこう(20)、ひよどり(20)、めじろ(24)、身障者用浴室

●ドリームB: あさかぜ(35)、すいせい(34)、みずほ(35)

本館活動エリア

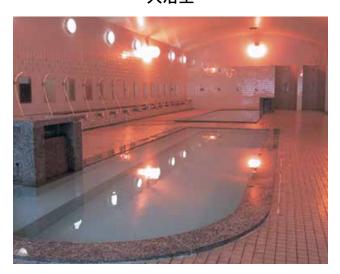
レストラン



ラーニングルーム

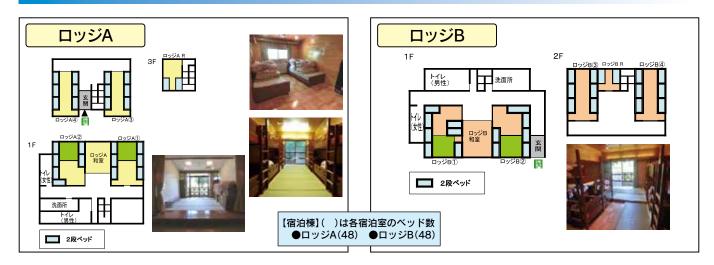


大浴室





本館外生活エリア



エクスパンションハウス



ディスカバリーハウス

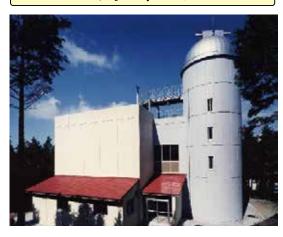


【研修棟】

- ●エクスパンションハウス(自然環境教育棟)
 - ・ラーニングルーム7(研修室 102人) ・コミュニティルーム① 33名
 ・コミュニティルーム②(L8,9,10) 27名 ・太陽光発電システム、表示パネル ・フリースペース

本館外活動エリア

スタードーム







ミニプラネタリウム (現在使用を停止中)



天体望遠鏡



【研修棟】

- ●ディスカバリーハウス(多目的研修棟)
 - ·創作室(50人) ·展示室(12m×11m) ·ラーニングルーム5(研修室 192人) ·和室(10畳) ·レクリエーションルーム(約8m×17m)
- ●スタードーム(天体観測棟)
- ・ラーニングルーム6(研修室 54人) ·展示室(45人 ミニプラネタリウム) ·屋上観察スペース ·観測室(200mm天体望遠鏡)

活動プログラム紹介

【フィールド活動・登山・ハイキング

- ○フィールドビンゴ
- ○ウォークラリー
- ○オリエンテーリング
- ○フォトラリー
- ○五玉神社のなぞを解け
- ○大根地山登山
- ○秋月ハイキング
- ○ナイトハイキング
- ○テント泊
- ○夜須アドベンチャー ウォーク など



五玉神社のなぞを解け



ナイトハイキング



大根地山登山 (山頂)



テント設営

野外調理

○野外炊飯

(カレー・ピザ・パエリアなど)

- ○バーベキュー
- ○もちつき など



野外炊飯(カレー)



もちつき

水辺活動(夏季のみ)

○川遊び ○渓流遊び など



川遊び

積雪時の活動

○雪ソリ ○スノーシュー体験 など



「レクリエーション活動」

- ○キャンプファイヤー
- ○キャンドルのつどい
- ○林間ボブスレー
- ○草スキー
- ○ニュースポーツ など



キャンプファイヤー



林間ボブスレー ※現在使用を停止中



キャンドルのつどい



ニュースポーツ (キンボール)

学習活動(文化的活動)

- ○天体観察 (口径200mm屈折天体望遠鏡)
- ○星座・星空観察
- ○自然観察
- ○絵本読み聞かせ (ビッグブックなど)
- ○DVD鑑賞
- ○講演会
- ○書道
- ○絵画
- ○吹奏楽 など



天体観測 (月・土星・木星など)

スポーツ(プレイホール)

- ○剣道
- ○バレーボール
- ○バスケットボール など



剣道

クラフト(創作)活動



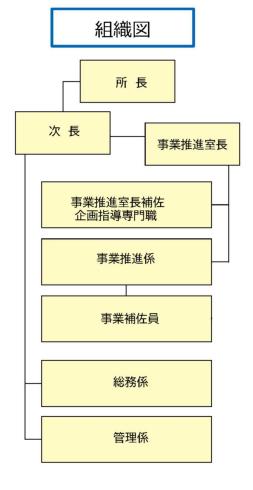


焼き杉 (コースター)

施設業務運営委員会委員

施設業務運営委員会…

当施設の業務運営に関する重要事項に ついて外部有識者の意見を聞くための 運営諮問委員会



沿革

/u +	
昭和63年(1988)4月	「国立夜須高原少年自然の家」開設
昭和63年(1988)7月	宿泊室、プレイホール 完成
昭和63年(1988)11月	ロッジA ・B 完成
平成2年(1990)5月	ディスカバリーハウス、キャンプ場避難小屋 完成
平成3年(1991)3月	スタードーム完成
平成5年(1993)3月	野外運動広場、草スキー場 整備
平成6年(1994)9月	林間ボブスレー場 完成
平成10年(1998)9月	開所10周年記念式典 挙行
平成12年(2000)5月	エクスパンションハウス 完成
平成15年(2003)3月	第1キャンプ場野外炊飯棟 完成
平成18年(2006)4月	「独立行政法人国立青少年教育振興機構」の施設へ移行 併せて「国立夜須高原青少年自然の家」へ名称変更
平成20年(2008)11月	開所20周年記念式典 挙行
平成30年(2018)11月	開所30周年記念式典 挙行
令和 2 年(2020)12月	ドリームB改修工事 完了

アクセスマップ

馬場山IC方面



筑後小郡IC方面

アクセス

※福岡・大牟田からJR鹿児島本線二日市駅・西鉄大牟田線朝倉街道駅下車、西鉄バス「篠隈バス停」下車







国立夜須高原青少年自然の家は、

「早寝早起き朝ごはん」

国民運動に参加しています。

「早寝早起き朝ごはん」国民運動とは…

- ・学習意欲・体力・気力の向上を図る
- ・望ましい基本的生活習慣を育成
- ・生活リズムの重要性を再認識
- ・地域ぐるみで支援するための環境設備など 地域社会、学校、家庭が一体となって、 心身共に健康な子供たちの育成をめざします。 詳しくは「早寝早起き朝ごはん」全国協議会の ホームページをご覧下さい。

http://www.hayanehayaoki.jp/





国立夜須高原青少年自然の家は、

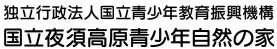
「体験の風をおこそう」

運動を推進しています。

「体験の風をおこそう」運動とは…

近年、社会が豊かで便利になる中で、子どもたちの自然体験、 社会体験、生活体験などの体験が減少している状況を踏まえ、 子どもたちの健やかな成長にとって体験がいかに重要であるか を広く家庭や社会に伝え、社会全体で体験活動を推進する機運 を高める運動です。

詳しくは「体験の風をおこそう」運動のホームページをご覧下さい。 https://taikennokaze.jp



〒838-0202 福岡県朝倉郡筑前町三箇山1103 TEL:0946-42-5811 FAX:0946-42-5880 E-Mail:yasu-jigyou@niye.go.jp HP:https://yasu.niye.go.jp/



令和6年度以降の利用料金について

国立夜須高原青少年自然の家は、青少年教育のナショナルセンターとして、全国にある他の国立青少年教育施設とともに多様な体験活動と機会を提供してまいりました。

また、青少年を取り巻く環境の変化や、新型コロナウイルス感染症の影響による新たな課題に直面する中で、誰一人取り残すことなく、全ての子供たちに良質な体験活動を提供することがナショナルセンターとしての役割と考えております。

しかしながら、施設の充実に係る経費の全てを政府予算で賄うことは困難であるため、施設使用料金を改定させていただき、施設の充実に係る経費の一部を利用者の皆様に御負担いただくことで全ての子供たちの安心・安全に配慮して、感動体験を提供できる体制の充実を図ってまいります。 皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【令和5年度まで】

施設使用料(青少年団体)	無料
施設使用料(一般団体)	900円/泊
シーツ等洗濯料	300円/一回

【令和6年度より】

施設使用料	
幼児(4歳以上)	300円/泊(※4泊目以降無料)
子供(小学生~高校生)	600円/泊(※4泊目以降無料)
大人(18歳以上)	2500円/泊(※4泊目以降無料)